

話題あれこれ

あつぎマラソン 計測機も変化が

10月27日(日) 荻野運動公園を起点に2013あつぎマラソン(第28回大会)が開催されました。朝9時の開会式後、3km、10km、ハーフと順次スタートします。参加者は10kmとハーフで2000人、中学生対象の3kmは165人。

タイムを測るのは「アクティブタグ」でゼッケンに装着します。以前はシューズに付ける「パッシブタグ」でした。ゴールの判定は、足先ではなく胴体で行うので、ゼッケンに付けるのがいいそうです。



(仮) 健康こ

どもの森予定地視察

マラソン大会の開会式後、(仮)健康こどもの森の予定地を見ってきました。荻野川沿いを歩いて、散策路に入りま

で工事をして

いた人「ヤマビル」出ますか?」



散策路の入口には「ヤマビルに注意」の看板。ビニール袋をはき、ズボンにテープでふさぐ。

この一部にオニスゲ、ミズニラというレッドデュータの危急種・希少種といわれる植物が群生しています。工事でこれらの植物がどうなってしまうか、大変心配です。

起伏に富んだ山道は、日差しが眩しく真っ赤なカラスウリが映えています。台風の後で湿地の水も潤沢で、気持ちのいい散策になりました。このまま、手を加えなくても十分楽しめます。ヤマビルの被害にもあわず、久しぶりの山歩きを楽しみました。



散策路の脇は耕作していない棚田が。これを復元するというが、耕作は誰が?

話題あれこれ

厚木市立病院10周年

台風27号の直撃を免れた10月26日(土)「厚木市立病院開設10周年記念講演会」が総合福祉センターで開かれました。

県立厚木病院が神奈川県から厚木市に移譲され、厚木市立病院として平成15年4月1日に開設されました。それから10



新病院建設工事が進められています。

年、産婦人科の休床などもありましたが、昨年10月には新病院建設工事が着工、28年度のオープン(予定)に向け進んでいます。

は、運営を地方公営企業法の全部適用とし、病院事業管理者が運営の責任を持つことになりました。

信頼される医療を

基本理念は「市民の皆様信頼される医療を提供します」。

基本方針で、①生命と健康を守るため、安全で良質な医療を提供します。②真心のこもった医療を提供します。③健全な病院経営を推進します、としています。基本方針①のなかで、急性期、がん、糖尿病及び高齢者、小児・周産期、災害拠点病院、地域の医療機関との連携を掲げています。

記念講演会の挨拶で、病院事業管理者である山本裕康院長は「少子高齢化の現状で、医療には、国の根幹を担う人々を医療がしっかりサポートすること、個々の幸せと国の繁栄のバックグラウンドを固めることが求められている。調和のとれた地域完結型の医療体制の構築が必須と考え、現病院の改革と新厚木病院の建設に全力であたっている。(期待下さい)」と頼もしい言葉。

その後、3つの講演がありました。

「脳卒中の治療と予防」脳神経外科部長の寺尾亨医師が、くも膜下出血・脳

梗塞・脳出血のそれぞれの症状や治療、予防について講演。「水分は充分取ること。トイレが近くなるからと水分を控える人がいるが、トイレに行くのと脳卒中になるのとどちらが良いかは明らかだ。タバコはやめましょう。市立病院の4人の脳外医師は誰もタバコを吸いません」など、身につまされた人もいたのではないかと思います。

手術中のリアルな動画もあって、こうして市民の命と健康が守られているのだと信頼と感謝をしつつ、できれば自分はこの手術をされないようにと願ったのでありました。

「どうする、どうなる小児医療(日本小児科学会が進める小児医療提供体制の改革について)」を小児科上席医長の伊東建医師、「狭心症と心筋梗塞」を循環器内科部長の八木秀憲医師が講演しました。

市立病院になって10年がたちました。地域の中核病院としての役割をしっかりと担い、市民に開かれた病院であるよう、私たち議員団も、市民の声を聴いて情報を発信していきたいと考えています。